

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分
 【発行日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【公開番号】特開2002-96959(P2002-96959A)
 【公開日】平成14年4月2日(2002.4.2)
 【出願番号】特願2001-222702(P2001-222702)
 【国際特許分類】

B 6 5 H 31/00 (2006.01)

B 4 1 F 13/64 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 31/00 Z

B 4 1 F 13/64 A

【手続補正書】
 【提出日】平成20年3月27日(2008.3.27)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】枚葉紙状の印刷材料を処理する印刷機の排紙装置であって、
ある高さに上部端を有する枚葉紙パイルを、パイルステーションにある枚葉紙から構成
 するパイルステーションへの枚葉紙の搬送を運転時に行う枚葉紙コンベヤと、
 第 1 の位置と、見本紙を取り出す第 2 の位置との間で位置調節可能で、前記第 1 の位置
 では前記枚葉紙コンベヤへのアクセスを妨げ、前記第 2 の位置では前記枚葉紙コンベヤへ
 のアクセス可能にする保護部(24)と、

枚葉紙搬送方向に見て、前記枚葉紙パイルから下流のある距離に、かつ前記枚葉紙パイル
の上部端の上方のある距離にある水平な揺動軸(29)と

を有し、
前記保護部(24)が、前記揺動軸(29)を中心として揺動可能なように前記排紙装
置上でヒンジ構造をしており、

前記保護部(24)が、前記揺動軸を中心として揺動可能で、前記第 1 の位置において
、前記揺動軸から下向きに少なくとも、前記枚葉紙パイルの上部端の高さまで延びる第 1
の保護区域(24.1)と、前記揺動軸に平行に延びるヒンジ軸(30)と、該ヒンジ軸
によって前記第 1 の保護区域(24.1)とヒンジ式に連結されている第 2 の保護区域(
24.2)とを含み、

前記両保護区域(24.1、24.2)は、これらを折畳むことによって一緒に前記第
1 の位置へと揺動し、それから揺動し互いに離れて前記第 2 の位置に移動し、これに対応
して前記第 1 の保護区域(24.1)が前記揺動軸(29)に関して上方に揺動して前記
両保護区域(24.1、24.2)が展開する

排紙装置。

【請求項 2】前記第 1 の保護区域(24.1)が、前記第 1 の位置では、下流側を向
いた風を実質的に風向きに対して横向きに偏向させる風除けを構成する、請求項 1 記載の
排紙装置。

【請求項 3】前記保護部(24)が前記第 2 の位置では少なくともほぼ伸張した姿
勢をとる、請求項 1 記載の排紙装置。

【請求項 4】前記揺動軸(29)と前記枚葉紙パイル(14)の間隔(A)が、前
記第 2 の位置にある前記保護部(24)によって少なくともほぼ橋渡しされる、請求項 1

記載の排紙装置。

【請求項 5】前記第 2 の保護区域 (2 4 . 2) が、窪み (2 4 . 2 ' , 2 4 . 2 ' ') を備えるシールドとして構成されており、前記窪み (2 4 . 2 ' , 2 4 . 2 ' ') は前記枚葉紙パイル (1 4) の方に向かって、ならびに部分的に上方かつ部分的に下方に向かって開いている、請求項 1 記載の排紙装置。

【請求項 6】前記第 2 の保護区域 (2 4 . 2) が少なくとも主として透明な材料でできている、請求項 1 記載の排紙装置。

【請求項 7】前記第 2 の保護区域 (2 4 . 2) が、操作者の手が通り抜けないように形成された目視開口部 (4 0) を有している、請求項 1 記載の排紙装置。

【請求項 8】前記保護部 (2 4) が主として透明な材料でできている、請求項 1 記載の排紙装置。

【請求項 9】前記第 2 の保護区域 (2 4 . 2) が、前記保護部 (2 4) の最初の、つまり第 1 の位置から、手動で上方に揺動可能である、請求項 1 記載の排紙装置。

【請求項 1 0】前記第 2 の保護区域 (2 4 . 2) がその最初の位置から上方に揺動したときに作動させることが可能な信号送信器 (3 9) を備えている、請求項 9 記載の排紙装置。

【請求項 1 1】前記保護部 (2 4) が前記第 1 の位置から前記第 2 の位置へおよびその逆に揺動したときに前記第 2 の保護区域 (2 4 . 2) を案内するスロット案内部を備えている、請求項 1 記載の排紙装置。

【請求項 1 2】前記枚葉紙 (3 . 1) の前記搬送方向に前記パイルステーション (3) に差込可能な補助パイル支持体 (3 6) が設けられており、この補助パイル支持体は前記保護部 (2 4) が前記第 1 の位置にあるときにだけ前記パイルステーション (3) に差込可能である、請求項 1 記載の排紙装置。

【請求項 1 3】前記第 1 の位置から前記第 2 の位置への前記保護部 (2 4) の位置調節可能性が、前記パイルステーション (3) への前記補助パイル支持体 (3 6) の差込によって阻止される、請求項 1 2 記載の排紙装置。

【請求項 1 4】請求項 1 から 1 3 までの少なくとも 1 項記載の排紙装置を備えている、枚葉紙を処理する機械。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

【課題を解決するための手段】

本発明によれば、そのために保護部は、揺動軸を中心として揺動可能で、第 1 の位置において、揺動ピンから下向きに少なくとも、枚葉紙パイルの上部端の高さまで延びる第 1 の保護区域と、揺動軸に平行に延びるヒンジ軸と、該ヒンジ軸によって第 1 の保護区域とヒンジ式に連結されている第 2 の保護区域とを含み、両保護区域は、これらを折畳むことによって一緒に第 1 の位置へと揺動し、それから揺動し互いに離れて第 2 の位置に移動し、これに対応して第 1 の保護区域が揺動軸に関して上方に揺動して両保護区域が展開する